

2010年度

科目名	文化財学課題研究(分析科学の研究)			
担当教員	広岡 公夫			
配当	文修1・文博1	コード	33000	
開期	通年	講時	水曜日3限	単位数
授業テーマ	自然科学的手法による考古・文化財試料の年代測定			
目的と概要	遺跡・遺物・遺構に関する種々の自然科学的年代測定法の原理と試料の測定の実際について概観する。また、考古地磁気年代測定法の基礎を理解し、その研究成果について詳述する。			
成績評価法	種々の年代測定法に関する興味と理解度について判断(75%)し、平常点・授業時の発言(25%)を考慮して評価する。			
テキスト	使用しない。			
参考書	考古学のための年代測定入門/長友恒人編/古今書院 文化財科学の事典/馬淵久夫ほか編/朝倉書店			
履修に当たっての注意・助言	自然科学の手法と考え方を理解することが重要です。			
講義計画				
第1回	はじめに(1)・・・文化財学とは何か?			
第2回	はじめに(2)・・・どのように年代を測定するのか?			
第3回	はじめに(3)・・・年代測定法のいろいろ			
第4回	放射性炭素法(1)			
第5回	放射性炭素法(2)			
第6回	放射性炭素法(3)			
第7回	放射性炭素法(4)			
第8回	熱ルミネッセンス法(1)			
第9回	熱ルミネッセンス法(2)			
第10回	フィッシュントラック法(1)			
第11回	フィッシュントラック法(2)			
第12回	フィッシュントラック法(3)			
第13回	その他の年代測定法(1)			
第14回	その他の年代測定法(2)			
第15回	その他の年代測定法(3)			
第16回	考古地磁気法(1):はじめに			
第17回	考古地磁気法(2):地磁気とその変動			
第18回	考古地磁気法(3):地磁気の化石-残留磁化			
第19回	考古地磁気法(4):熱残留磁化(TRM)			
第20回	考古地磁気法(5):堆積残留磁化(DRM)			
第21回	考古地磁気法(6):等温残留磁化(IRM)			
第22回	考古地磁気法(7):粘性残留磁化(VRM)			
第23回	考古地磁気法(8):その他の残留磁化獲得の機構			
第24回	考古地磁気法(9):日本の考古地磁気永年変化①			
第25回	考古地磁気法(10):日本の考古地磁気永年変化②			
第26回	考古地磁気法(11):日本の考古地磁気永年変化③			
第27回	考古地磁気法(12):考古地磁気永年変化を用いた年代推定			
第28回	考古地磁気法(13):世界各地の考古地磁気永年変化①			
第29回	考古地磁気法(14):世界各地の考古地磁気永年変化②			
第30回	古地磁気学による洪積世の年代推定			